

## まなびましよう No.18

大桑村教育委員会・大桑村公民館（TEL ＊ ＊ 55-1020 FAX ＊ ＊ 55-2607）  
大桑村ホームページ <http://www.vill.ookuwa.nagano.jp/>マスコット「マナビイ」  
デザイン：石ノ森章太郎

## 年頭所感



大桑村公民館長 早川 孝

年が改まり、皆様方におかれましては平成最後の本年も輝ける年になりますことをお祈りいたします。そして、日頃の公民館活動へのご参加とご協力に感謝申し上げます。

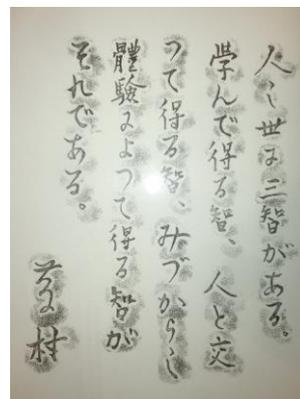
昨年 10 月に出されました、社会教育の振興に関する中央教育審議会の答申案で「インターネット上のサイバー空間が、情報通信技術の発達等を背景に飛躍的に発展している昨今において、人と人との交流や、書物や作品、資料などを通して実際に五感を使ってリアリティ(実体)を体験できる場として、公民館等の社会教育施設の重要性は高まっている。」との現状認識が述べられています。



今の ICT(情報技術)は文字だけではなくて写真や動画など、大量の情報を瞬時に広げられます。しかし、生身の人間の五感で伝え合う温もりまでは同伴できません。技術の経済的側面ばかりが喧伝されていますが、この答申案は今の社会に対する警鐘のような気がします。乾いた情報の渦の中で人が本来もっている温もりをやり取りできる場としての公民館は、ある意味で精神的あるいは心理的な意味で現代社会のシェルターのようにも思えます。

一方、ICT よりはるか以前の話ですが、皆さん島崎藤村の『三智』と云う言葉をご存知ですか。大桑中学校の玄関先に碑文があります。50年ほど前の卒業生が建てた記念碑で、現在の中学校の学校目標も「三智を磨き自己の道を切り拓く」となっています。

これは、藤村が晩年に「人の世には三智がある」の書き出しで、とある小冊子に寄せた短文で、自ら学び、人から学び、さらに体験から育んだ知恵が『三智』と記されています。そして、これこそが生涯を通じて自らを高める術と思うが、試行錯誤を繰り返しながら道を拓いて来たと言っています。



▲島崎藤村の三智

最近、人生100年との言葉を耳にしますが、100歳以上の人口は約7万人とのこと。色々な意味で疲弊しているように見える現代社会で、物とお金を尺度にしない豊かな100年人生とは、この藤村の言葉の中に凝縮されているような気がします。公民館活動などでお互いを刺激し合い学ぶことも、三智を磨き人生を豊かにする一つの方法だと思います。

いずれにしましても、これまでの地道な分館活動に支えられた公民館は、前述しましたように、現在の社会状況の中でこそ存在意義が強まっているように思われます。これまでの継続とともに、新しい生涯学習の場としての無理のない公民館活動の模索が必要ではないでしょうか。

色々なかたちでの皆様のご協力、ご参加を宜しくお願い申し上げます。【裏面もご覧ください】



# 平成30年度 大桑村の明日を語る集い

今年度  
テーマ

## 『おおくわむら夢企画 社長になってみませんか？ ～あなたはどんな会社にする～』

参加者  
募集!

2月24日(日)  
午前9時30分～

※受付午前9時～

昨年度は『大桑村の“ここ”が好き！  
～伝えたい！・残したい！・自慢したい！～』  
をテーマに語り合いました。  
今年度は昨年度出された村の魅力を振り  
返りながら、魅力を活かすことで、どんな  
起業ができるか、どんな会社で働いて  
みたいかなど“夢の会社”を考えます。

【場所】野尻地区館  
【参加費】600円(昼食代)  
※高校生以下無料  
【主催】大桑村社会教育委員の会

◇地域の魅力再発見 ミニ講演会◇

\*株式会社 信州セラミックス

◇大桑村社会教育委員の会 活動報告◇  
\*関東甲信越静社会教育研究大会  
事例発表に参加して

\*駐車場に限りがあります。  
当日はできる限り送迎バスを  
ご利用ください

★参加申し込み先  
大桑村教育委員会  
TEL \*\*55-1020

昼食は  
木曾牛カレー



小学生・中学生  
高校生の参加  
大歓迎!!



## 来年度の社会体育施設 年間使用日割会議を開催します

【日時】2月18日(月) 19:00～

【場所】中央公民館 第2会議室

★2019年4月1日～2020年3月31日  
までの施設の年間使用を決めます。

★年間を通じて施設使用を希望する団体の  
代表者は出席をお願いします。

【対象施設】

- \*スポーツ公園グラウンド
- \*テニスコート
- \*村民体育館大体育室
- \* " 柔剣道室
- \*小学校・中学校体育館
- \* " グラウンド